

2019年8月23日

スペーサーテープの受注数量が創業以来過去最高となりました。

当社は現在、韓国2社、台湾2社、国内1社の主要5社のCOF製造メーカーとの取引でこの4年で2倍の生産数量に拡大して参りました。更にこの度、新たに中国内に2社のCOF製造メーカーが量産を目的とし操業を開始し、販売契約を締結致しました。

また、かねてよりお知らせしておりましたスマートフォン向けCOFについてのシェアも70%を超え、今後も需要拡大が見込まれています。

従来、スマートフォン向けCOFは2メタルCOFがOLED（有機ELパネル）に若干採用される程度でありましたが、2018年よりスマートフォンのフルスクリーンタイプ（ホームボタン及び額縁がないタイプ）において片面COFの需要が急拡大しております。これまでスマートフォンにおいてはホームボタン周辺のガラス裏面にドライバーICを直接実装するCOG方式が採用されておりましたが、ホームボタンがなくなる事により、ガラスに実装するスペースがなくなった為、COFに実装する方式が増えてきております。

※COFとはChip on Filmの略称でフィルム状の基盤に連続的に実装を行っていく方式を意味します。



以上の結果、2019年9月度の生産数量はスペーサーテープの出荷を開始した1990年以来、特にアナログから地デジに切り替わる際の特需（2006年度）を超える、過去最高数量に達する予定です。

今後、更に拡大すると思われる需要増に対応すべく、日韓の生産拠点を合わせ、月間1,000万mを超える増産体制を構築してまいります。現在、韓国製造拠点は創業以来、初の2シフト体制をスタートし、順調に稼働しております。

以上